

令和 8 年 3 月 30 日

一般社団法人 全国浄化槽団体連合会
会長 上 田 勝 朗 殿

水環境保全助成事業実施報告書（総括表）

団体名称	松島湾アマモ場再生会議
代表者	桑原茂
所在地	〒985-0831 宮城県多賀城市笠神 3-1-39
	電話番号 090-2973-8460 hctap621@ybb.ne.jp
事業内容 （概要、成果等）	別添報告書のとおり 2012 年の発足以降、アマモ場を増やし生物多様性と豊かな故郷の海を取り戻す活動を継続しているが、近年の異常な海水温の上昇に伴い松島湾内でも生息魚類の変移や、それに伴う海草、海藻類の食害、磯焼け、枯死などが顕著になってきている。 アマモは光合成により酸素を海中に供給するとともに海中に存在する森林のように海水温度の上昇を穏やかにして生物のゆりかごととして存在するものの、水深が浅く夏の高温が顕著に影響する松島湾にあつてその役割は特に大きなものがある。 国内にてアマモの繁茂に実績のあるゾステラマットを 160 枚導入し、上記の動機づけにより参加者には異常気象を身近な問題として感じてもらいながら地球市民として海洋環境の負荷軽減への一助となる具体的な活動に参加してもらおう機会となったものと思う。なお、マットは東松島市波津々浦に宮戸西部漁協と連携してを敷設した。発芽などの経過観察を継続実施する。
事業実施期間（日時）	令和 7 年 6 月～令和 8 年 3 月
事業実施場所	宮城県塩竈市北浜緑地護岸・くろしおマリーナ・松島湾内
参加人数	別紙のとおり
経過	2025 年 6 月 14 日アマモ花枝採取と生き物調査 6 月 16 日塩竈市立第一小学校アマモの移植地域学習 6 月 29 日北浜緑地護岸第 2 回生き物調査 8 月 3 日松島湾アマモ場再生会議総会 8 月 4 日アマモの海で遊ぼう夏休み親子体験 11 月 8 日アマモの移植事業 11 月 13 日塩竈第一小学校アマモの種選別地域学習 2026 年 3 月 4 日アマモ場再生のためのシンポジウム

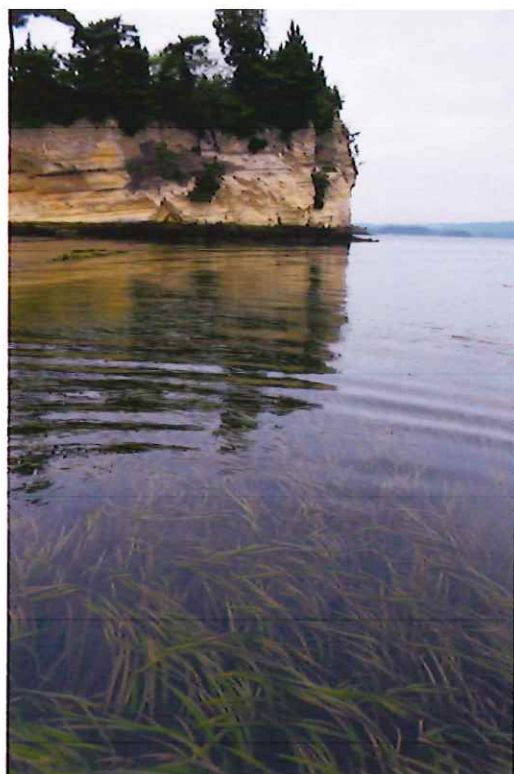
会計報告

費目	内容	金額
[1] 謝金	ダイバー活動謝金 40,000円×1人 潜水作業台 43,000円×1人 講師謝金 50,000円×1人 講師謝金 20,000円×3人	193,000円
[2] 旅費	乗船料990円（桂島⇄塩釜）大人28	27720円
[3] 印刷製 本費	チラシ制作（300枚） 44,110円 〃 （500枚） 49,500円 〃 （300枚） 50,600円 〃 （300枚） 52,030円	196,240円
[4] 通信運 搬費		
[5] 借料・ 損料	島内移動船 @20,000円×2隻 〃 @20,000円×2隻 船舶借上げ料 @70,000円 小船借り上げ料@27500円×2隻 〃 @27,500円×1隻 〃 @27,500円×1隻 小学生移動大型バス@59400円／台	319,400円
[6] 消耗品 材料費	救急薬品・ロープ類・アマモ固定資 材、アマモ移植資材 52,343円 清掃活動袋代（3種類） 30,800円 アマモ用鉄格子フレーム製作160枚 579,779円 ゾステラマット製作（フレームへのマ ットの組付け） 264,000円	926,922円
[7] 賃金 [8] 事務管 理費		
合計		1,663,282 円

2025年度 水環境保全助成事業 実施報告書

団体名: 松島湾アマモ場再生会議

- 1) 実施日 2025年6月14日(土)
実施場所 宮城県塩竈市浦戸諸島桂島(松島湾内)
参加人数 114人
(内訳)
松島湾アマモ場再生会議会員 22人
協力団体75人
(セブンイレブン記念財団 75人)
一般参加 17人



▲塩竈市浦戸諸島桂島前浜(松島湾)
アマモのドナーサイトです。ここへは旅客
船⇄小型船乗り換えて到着します。



▲アマモの海にはどんな
生き物がいるかを調査の
引き網。専門家が解説し
てくれます。



アマモの種(花枝)。参
加者はこれを採取して
秋まで海中で養生しま
す

2) 塩竈市立第一小学校4年生地域学習

実施日 2025年6月16日(月)

実施場所 宮城県塩竈市北浜 (北浜緑地護岸公園)

参加人数 41人

(内訳)

松島湾アマモ場再生会議会員 6人

塩竈市立第一小学校 児童・教諭35人



▲海が身近にありながら直接触れられる場所は市内ではここだけ。生き物を探しています。



▲前年の秋から教室で育ててきたアマモの苗を海に移植します。



3) 北浜緑地護岸公園 第2回生き物調査

実施日 2025年6月29日(日)

実施場所 宮城県塩竈市北浜 (北浜緑地護岸公園)

参加人数 115人

(内訳) 松島湾アマモ場再生会議会員 10人 東京エレクトロン宮城 75人 一般参加30人



採取できた生き物を分別し、専門家による解説を実施。前年より生息種は増加しており絶物危惧種も発見された。(成果は別添)

4) アマモの海で遊ぼう「夏休み親子体験」 詳細は別添参照

2025年8月4日(月)

実施場所 宮城県塩竈市浦戸諸島桂島

参加人数 65人

(内訳)

松島湾アマモ場再生会議会員 21人

一般参加29人 仙台ECO海洋動物専門学校生徒15人



5) アマモの移植事業

実施日 2025年11月8日(土)

実施場所 宮城県塩竈市北浜くろしおマリーナ 移植先: 東松島市波津々浦

参加人数 82人

(内訳) 松島湾アマモ場再生会議会員 9人 一般参加10人

協力団体65人(セブンイレブン記念財団)



上左
座学、昨年移植した苗の発
芽の様子等を報告

上中
アマモの種を海中に移植す
るマットの準備連結

上右
アマモの種の選別作業

左
移植マットの準備

右
移植用に寒天粘土に種を
結着させたもの

マットの海中敷設作業(潜
水士による作業)



6) 塩竈市立第一小学校4年生地域学習

2025年11月13日(木)

実施場所 塩竈市立第一小学校多目的教室 参加人数 40人
(内訳)

第一小学校4年生児童・教諭 35人 会員5人



アマモの種の選別をして、海水で満たした水槽にアマモの種を移植。発芽の様子と育成を春まで観察します。

故郷の海、松島湾とアマモの関係やその海で育つ生物の話など、ふるりの海に関する授業を実施しました。

育てた苗は来年の6月に次の4年生が移植します。

7) アマモ場再生のためのシンポジウム「松島湾の海洋環境復興を考えるシンポジウム」

実施日 2026年3月4日(水)

実施場所 宮城県塩竈市しおがまパノラマ

参加人数 31人

(内訳) 松島湾アマモ場再生会議会員 15人 一般参加16人



上左

会長あいさつ。来年の会の展望を説明。これまでの活動を踏まえてどのように効果的に活動を活動を継続するかを基本にシンポジウムがスタート。

上右

2012年の活動当初からアドバイスや指導をいただいた海洋専門家の木村尚先生。日本テレビの鉄腕ダッシュなどでも活躍中。今季は、アマモの副次的な価値、ブルーカーボンの国内の各地域の取り組みを講演。

下

我々の活動の潜水作業などもサポートしていただいている五十嵐健志先生。温暖化が進み如実に変化している昨今の海洋の現状をお話いただいた。

